

お元気ですか



新屋敷事務所: JR円行寺口駅前 823-5878
あぞの事務所: 846-2046 県議会 823-9524
北本町事務所: 北本町1丁目13-1上雅ビル1F



日本共産党

県政ニュース はた 愛

2024年6月9日 No.888

委員会視察 農業・林業振興センター、畜産・茶業試験場、魚の養殖加工

「半農半X」兼業も支え集落を維持する仕組みづくりを

重要だと言います。航空レーダーで伐採前の山の地形や林道の把握などができる様になり、企業の代表は「4日かかる仕事が1日で済むようになった」と話します。一方で機械化にはお金がかかります。例えば木を倒し、枝を切り寸法を測って切り出す作業を一台でこなす機械（ハーベスタ）は数千円。行政の支援がないと進まないのが現実です。



女性の林業労働者を支える為に町独自にトイレカーを林業会社にレンタルしていました。また、人手不足の中、デジタル化は、

移動トイレカー

仁淀川町・林業現場

仁淀川流域にある茶業試験場を訪ねました。高知のお茶の生産現場は多くが急傾斜地であるがゆえに、労働力不足を生んでいます。高齢化は第一次産業の中で最も進んでいました。年齢構成では30代1%、40代3%、50代10%、60代24%、70代43%、80代以上が19%です。60代以上は全体の86%を占めます。試験場では有機栽培の技術開発を進めていました。今、お茶は海外市場で成長しており、特に有機のお茶が人気、販売先の主流になっているようです。試験場としても生産者の所得向上の為に、有機への転換や生姜、ゆず、そば、カモミールなど地元農産物とブレンドしたフレーバーティーの開発もしています。生産だけでなく、加工、販売まで考えた取り組みは集落に新しい仕事、収入を生むと期待します。

海外市場 お茶人気 輸出大チャンス

おたまじゃくし

紫陽花が咲く道を地域の癒し犬“さくら”が歩く。すれ違う住民達は我が事に思い、老犬さくらを心配し「がんばれよ」と声をかける。温かさ笑顔をもらう。一方、テレビでは自民・公明のトップが笑顔で握手しているが、これは裏金問題の幕引きを企てる笑顔なのだ。組織的に作った裏金で脱税や税金の還付まで行っていたが、自公維新が合意した政治資金規正法案は、裏金の最大の原因である企業・団体献金を禁止しないと言う。今、国民は出口の見えない円安と物価高騰の中で苦しんでいる、怒りは大きい。国がやるべきは経済を動かすお金の6割の生活消費に繋がる賃上げと正規化を急ぐ時と思うが、中小事業者や労働者をまともに支えず、増税を繰り返している。それどころか税金でせっせと武器をつくり輸出する。札幌市では防衛省自衛隊が自衛官募集のパンフレットを子ども食堂で配布し勧誘していた。中村哲さんの国会での参考人質疑の言葉を思いだす。自衛隊の海外派兵の是非を問われ「有害無益」と大臣を前に発言したが、生きる事を助ける政治を。



一宮・愛宕 バス路線廃止問題 生活できる新しい公共交通とは



住民「地元意見を聞いて欲しい」
廃止案は一旦、見直すべき
とさでん交通は10月にも市のバス路線の一部を廃止する案を示しました。一宮トーマン団地や高知駅前から愛宕商店街区間が含まれます。バスが無くなれば、たちまち買い物や通院に困ると、関係住民は訴えています。交通は生活の権利です。代替案としてルート変更やデマンドタクシーなどの可能性を住民と共に考える必要があります。100%税金出資の会社である以上、公共性を尊重してほしいです。

無料 生活・法律相談会

6月16日 午前10時~12時
新屋敷事務所 皿田幸憲・弁護士
6月19日 午後18時~20時
あぞの事務所 南拓人・弁護士
*あぞの予約先:090-1171-4156